

速報

北海道議会新庁舎を完全禁煙に！ 喫煙所設置に絶対反対！

地域保健部

自民党・道民会議が道議会新庁舎の会派控え室内に喫煙所を設置する見通しとなったことを受け、去る7月25日に長瀬会長が記者会見を開き庁舎を含む敷地内全面禁煙を求めその後、鈴木知事をはじめ村田議長、高橋副議長、各会派に要望書を提出するなど強い働きかけを行ってきたことは、北海道医報第1212号（令和元年9月1日）で報告したところである。

そのような当会の活動や世論の後押しもあり、良識ある道議会議員は喫煙所設置を断念するものと思われていたが、最大会派である自民党は、他の3会派が「敷地内全面禁煙」を主張する中で、所属議員対象に無記名自由記述のアンケートを実施し、6割が設置に賛成であるとの結果が多くのメディアで報道され、一転して喫煙所設置の動きが強まった。

そのため、長瀬会長は10月2日に緊急記者会見を行い、「北海道は喫煙率が高く、肺がん死亡率も高い。道民の健康保持増進を考えていく道議こそが率先してたばこの害を防ぐ対策に取り組んでほしい」と改めて喫煙所設置には絶対に反対であることを主張した。しかしながら、自民党・道民会議は4日、道民や当会の強い反対を無視する形で北海道議会新庁舎内への喫煙所設置を決めた。

この決定は、2020年の東京オリンピック・パラリ



記者会見の様子

ンピックを来年に控え、全国的にも受動喫煙防止の流れが強まる中、他都府県に影響を及ぼす悪しき前例となることも懸念され、北海道の恥でもある。自民党・道民会議の最終判断は耳を疑うものであり誠に遺憾である。

道民の代表である道議会議員が民意に背を向けることは許されず、他会派は設置を求めていることも忘れてはいけない。

一般住民からは応援メッセージなどが届いているが、一方で当会が喫煙所設置を阻止できなかったことへの批判の声も寄せられている。

当会としては、今後も引き続き、構成団体として参画している北海道がん対策「六位一体」協議会での受動喫煙防止の取り組みや、医療関係団体で構成する北海道たばこ対策連絡協議会での署名活動、政治団体・北海道医師連盟と協力するなどさまざまな角度から粘り強く道議会新庁舎敷地内全面禁煙の実現に向けての活動を展開していく所存であるので、会員各位においてもご支援・ご協力をお願いしたい。

北海道議会新庁舎敷地内等 全面禁煙を求める署名のお願い

本号附録に同封してます！

ご協力をお願いします

